

保健センターの教室など

大垣地域 乳幼児相談

- * とき / 6月2・9・16・23・30日 いずれも水曜日の午前9時～11時
- * ところ / 大垣市保健センター
- * 内容 / 育児や発育などの相談
- * 持ち物 / 母子健康手帳
- * 申込 / 5月15日から、同センター (☎75-2322) へ



- * 内容 / 離乳食の進め方、事故予防の話など
- * 定員 / 各15人 (先着順)
- * 持ち物 / 母子健康手帳
- * 申込 / 5月17日から、同センター (☎75-2322) へ

全地域 離乳食(中期～後期) ひよこステップ学級

- * 対象 / 5～6か月児の保護者
- * とき / 6月7日(月) ①午前9時30分～10時30分(受付:午前9時20分～)、②午前10時45分～11時45分(受付:午前10時35分～)
- * ところ / 大垣市保健センター

離乳食
(前期)

- * 対象 / 7～11か月児の保護者
- * とき / 6月3日(木) 午前10時～10時45分(受付:午前9時50分～)
- * ところ / 大垣市保健センター
- * 内容 / 離乳食(中期～後期)の進め方、歯科指導
- * 定員 / 15人 (先着順)
- * 持ち物 / 母子健康手帳
- * 申込 / 5月17日から、同センター (☎75-2322) へ



大垣・上石津・墨保地域 健康相談

- * とき / 下表のとおり いずれも午前9時～11時

- * 内容 / 生活習慣病の予防、こころの病などに関する相談
- * 申込 / 5月15日から、各保健センターへ



内容	とき	ところ・問合せ
一般相談	6/1(火)・15(火)	大垣市保健センター (☎75-2322)
理学療法士・歯科衛生士・栄養士・保健師による相談	6/15(火)	上石津保健センター (☎45-2933)
	6/10(木)	墨保保健センター (☎62-3112)
こころの相談	6/8(火)	大垣市保健センター (☎75-2322)
保健師による相談	6/24(木)	南部子育て支援センター ※予約は大垣市保健センターへ

コロナ禍でも 必要ながん検診の受診を!

新型コロナウイルス感染症を恐れるあまり、必要な検診の受診を控えていますか。
がんの早期発見・早期治療につながるためにも、適切なタイミングでのがん検診の受診を意識しましょう。
詳しくは、大垣市保健センター (☎75-2322) へ。

●市では各種がん検診を行っています

ウィズコロナの今だからこそ、年齢や基礎疾患の有無などそれぞれの事情に応じたがん検診の受診が大切です。特に、昨年度受診を控えていた人は、今年度受診しましょう。日程や会場、申し込みなど、詳しくは市HPをご覧ください。

種類	対象者
胃がん	50歳以上の人
大腸がん	40歳以上の人
肺がん	
子宮頸がん	20歳以上の女性
乳がん	35歳以上の女性
前立腺がん	50歳以上の男性

●検診機関は適切な感染予防対策を徹底しています

受診する人は、市HPの体調確認チェックシートを確認していただき、検診当日はマスクの着用にご協力をお願いいたします。

糖尿病予防教室

- ◇対象 / 糖尿病に関心のある人、検査で参加を勧められた人
- ◇とき / 6月14日(月) 午前9時～正午
- ◇ところ / 大垣市保健センター
- ◇内容 / 管理栄養士・理学療養士による栄養指導、運動実技



- ◇定員 / 16人 (先着順)
- ◇参加料 / 無料
- ◇持ち物 / 飲み物、タオル
- ◇備考 / マスク着用のうえ、動きやすい服装で参加
- ◇申込 / 5月17日から、同センター (☎75-2322) へ

結核・肺がん 夜間検診

- ◇対象 / 【結核検診】65歳以上の人 【肺がん検診】40歳以上の人 【喀たん検査】50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の希望する人
- ◇とき / 6月14日(月) 午後6時～7時
- ◇ところ / 中川ふれあいセンター
- ◇受診料 / 無料(喀たん検査のみ500円)
- ◇持ち物 / 受診票
- ◇備考 / 受診票がない人は当日配布
- ◇問合せ / 大垣市保健センター (☎75-2322) へ



血液検査で 簡単チェック!! 胃がんリスク検診

市は、血液検査でピロリ菌の抗体と胃の炎症や粘膜の状態を調べる「胃がんリスク検診」を行っています。
詳しくは、大垣市保健センター (☎75-2322) へ。

- ◇対象 / 40～74歳の人 (過去に受けたことのない人) ※次の①～⑤に該当する人は判定困難となるため、受診をお断りしています。
- ①食道・胃・十二指腸の病気が疑われる人、あるいは治療中の人
- ②胃酸分泌を抑える薬を飲んでいる人
- ③腎臓の機能が悪いと言われている人
- ④胃切除の手術を受けた人
- ⑤ピロリ菌の除菌治療をすでに受けた人



- ◇検診料 / 500円 ※生活保護世帯や中国残留邦人および市民税非課税世帯の人は無料となりますので、事前に同センターで手続きを行ってください

胃がんリスク検診とは

血液検査でピロリ菌の抗体と胃の炎症や粘膜の度合いを反映するペプシノーゲンを測定し、その組み合わせにより胃がんのリスクをA～Cに分類して評価する検査です。

ピロリ菌感染によって胃の粘膜の萎縮が進むほど、胃がんを発症しやすくなりますが、ピロリ菌除菌など必要な治療などを行うことで、早期発見・早期治療につながります。 ※胃がんそのものを見つける検査ではありません



ピロリ菌と胃がんの関係性

ピロリ菌に感染している人としていない人とで10年間調査したところ、感染している人のうち2.9%の人に胃がんが発症したという結果が出ました。このことから、ピロリ菌の感染と胃がんの発症には大きな関連があると考えられています。